

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】令和4年1月17日(2022.1.17)

【国際公開番号】WO2020/208871
 【出願番号】特願2021-513162(P2021-513162)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 2 6 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)
 H 0 4 N 5 / 7 4 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

G 0 2 B 2 6 / 1 0 C
 G 0 2 B 2 6 / 1 0 1 0 4 Z
 G 0 2 B 2 6 / 1 0 B
 H 0 4 N 5 / 7 4 H

10

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月28日(2021.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を形成するように構成される光形成部と、
 前記光形成部を取り囲み、前記光形成部を封止する保護部材と、を備え、
 前記保護部材は、
平板状の形状を有し、主面を有する基部と、
前記主面上に配置され、前記主面に対向する領域に窓部を有する蓋部と、を含み、

30

前記光形成部は、

レーザダイオードと、

前記レーザダイオードからの光を走査するように反射する第1反射面を有する第1ミラー
 を含み、前記第1反射面の中心点における法線である第1法線の軌跡によって第1平面を
 形成するように前記第1ミラーが揺動する第1MEMSと、

前記第1ミラーからの光を走査し、前記窓部に向けて反射する第2反射面を有する第2ミ
 ラーを含み、前記第2反射面の中心点における法線である第2法線の軌跡によって前記第
 1平面に直交する第2平面を形成するように前記第2ミラーが揺動する第2MEMSと、
 を含む、光モジュール。

【請求項2】

前記光形成部は、電子温度調整モジュールを含むベース部材をさらに含み、
 前記第1MEMSおよび前記第2MEMSは、前記ベース部材上に配置される、請求項1
 に記載の光モジュール。

40

【請求項3】

前記光形成部は、

複数の前記レーザダイオードと、

前記複数のレーザダイオードから出射される光を合波するフィルタと、をさらに含む、請
 求項1または請求項2に記載の光モジュール。

【請求項4】

前記光形成部は、前記複数のレーザダイオードから出射される光を合波する複数のフィル
 タをさらに含み、

50

前記複数のレーザダイオードは、
第 1 の光を出射する第 1 レーザダイオードと、
第 2 の光を出射する第 2 レーザダイオードと、
第 3 の光を出射する第 3 レーザダイオードと、を含み、
前記複数のフィルタは、
前記第 1 レーザダイオードから出射される前記第 1 の光と、前記第 2 レーザダイオードから出射される前記第 2 の光と、を合波する第 1 部材と、
前記第 1 部材により合波された前記第 1 の光および前記第 2 の光と、前記第 3 レーザダイオードから出射される前記第 3 の光と、を合波する第 2 部材と、を含む、請求項 3 に記載の光モジュール。

10

【請求項 5】

前記第 1 レーザダイオードが、赤色の光を出射する赤色レーザダイオードであり、
前記第 2 レーザダイオードが、緑色の光を出射する緑色レーザダイオードであり、
前記第 3 レーザダイオードが、青色の光を出射する青色レーザダイオードである、請求項 4 に記載の光モジュール。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0048】

(実施の形態 2)

次に、図 8 ~ 図 14 を参照して、他の実施の形態である実施の形態 2 について説明する。図 9 は、図 8 のキャップを取り外した状態に対応する斜視図である。図 10 は、図 8 のキャップを取り外した状態に対応し、図 9 とは異なる視点から見た斜視図である。図 13 は、キャップ 40 を断面にて、他の部品を平面視にて示した X - Y 平面における概略図である。図 14 は、キャップ 40 およびガラス板 42 を断面にて、他の部品を平面視にて示した X - Z 平面における概略図である。

30

40

50